

平成 29 年度島根県学力調査

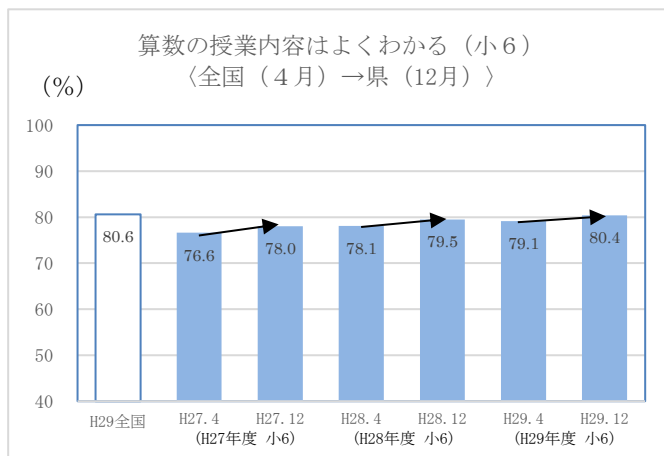
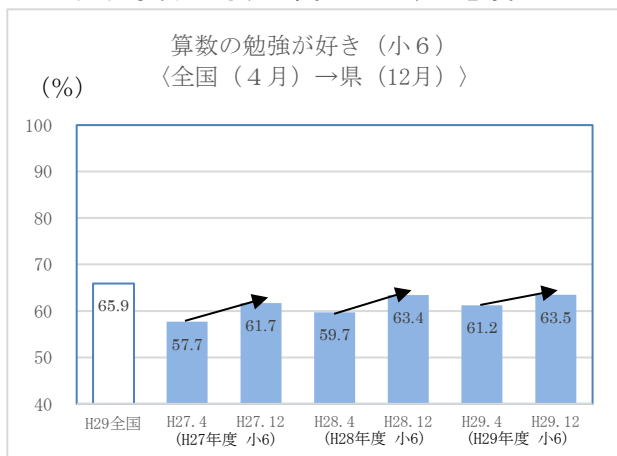
生活・学習に関する意識調査結果概要

1 生活・学習に関する意識調査結果概要

- 学習に対する関心・意欲・態度
 - ・「算数の勉強が好き」「算数の授業の内容はよく分かる」など、算数の勉強についての質問における肯定的な回答は、少しずつ改善してきており、全国並みの状況になってきた。
 - ・「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」「数学の問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考える」についての肯定的回答は、学年が上がるにつれ下がる傾向にある。
- 授業改善の状況
 - ・「児童生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」について肯定的に回答した割合が、上昇してきている。
 - ・『総合的な学習の時間』では、集めた情報を課題に沿って整理し考え、発表する学習に取り組んでいる」について肯定的に回答した児童生徒の割合が増えてきており、全国値を上回っている。
- 学習習慣
 - ・平日に授業以外に1時間以上勉強する割合が、特に中学生で低い状況が改善していない。
- メディア利用
 - ・「普段、1日当たり1時間以上携帯電話やスマートフォンを使う児童生徒の割合」は、年齢が上がるほど割合が大きくなっている。
 - ・「普段、1日当たり1時間以上テレビゲームをする児童生徒の割合」は、小6～中2まで学年にかかわらず、約半数にのぼっている。

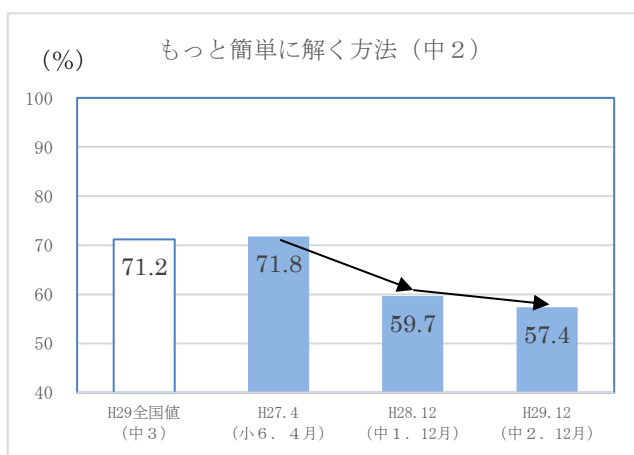
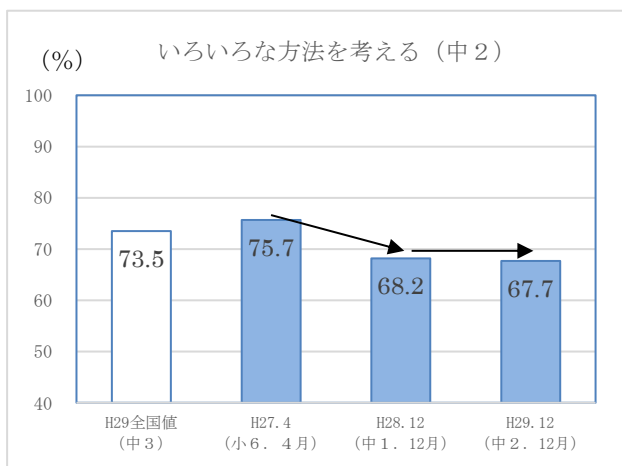
2 全国学力・学習状況調査で特に課題がみられた項目の状況（小6と中2を中心に）

(1) 学習に対する関心・意欲・態度



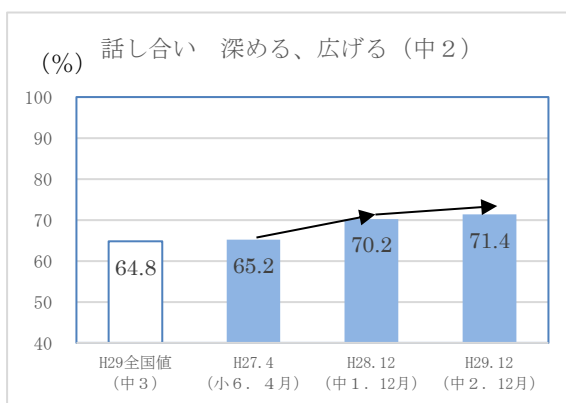
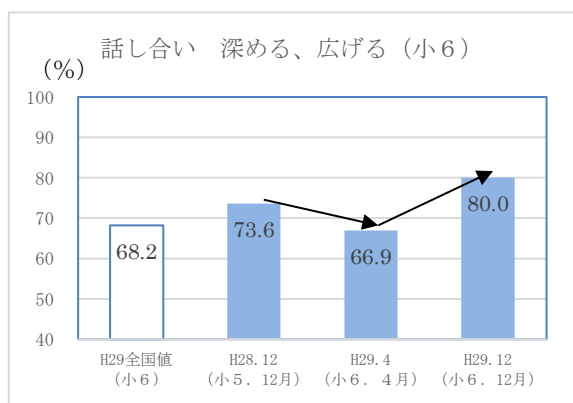
小6の「算数の勉強が好き」の肯定的な回答率が63.5%であり、4月の全国調査時より2.3ポイント上昇し、全国値との差が2.4ポイント差に縮まっている。「算数の授業内容はよくわかる」の肯定的な回答率が80.4%でほぼ全国値並である。

過去3年のデータをみると、4月の全国調査時と比較して12月の県調査時に肯定的な回答率が、毎年上昇している。また、平成27年から平成29年度にかけて「算数の勉強が好き」「算数の授業内容はよくわかる」ともに肯定的な回答率が上昇している。

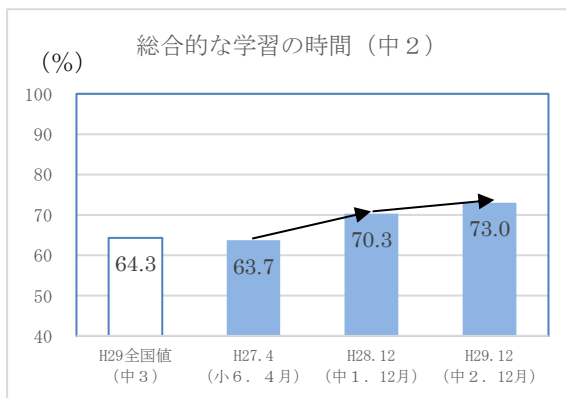
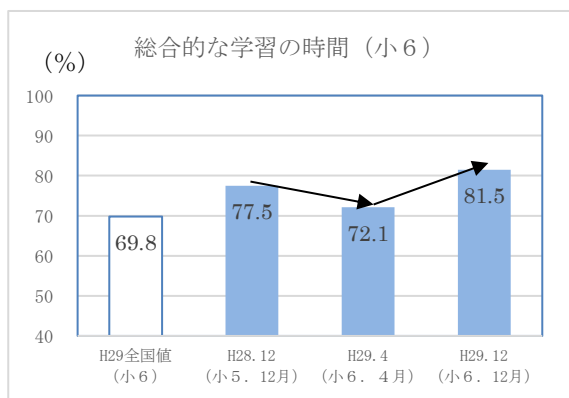


中2の「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」「数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」について、小6・中1の調査時と比較して、肯定的な回答率が下がっている。

(2) 授業改善の状況

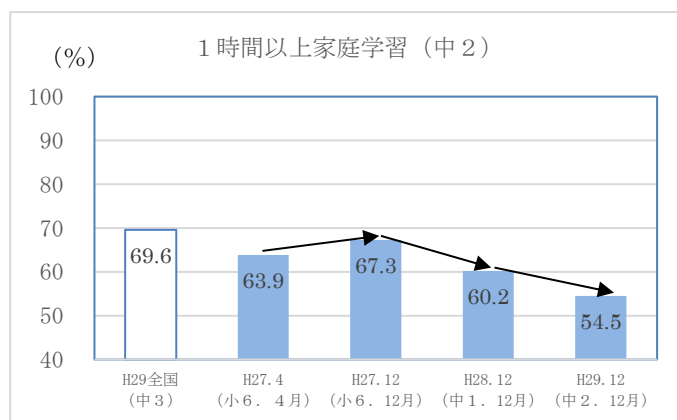
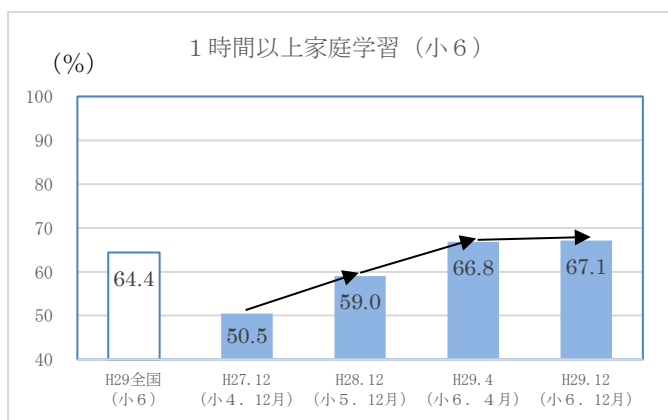


「児童生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」について肯定的な回答率が、上昇してきている。



「『総合的な学習の時間』では、集めた情報を課題に沿って整理し考え、発表する学習に取り組んでいる」について肯定的な回答率が上昇している。

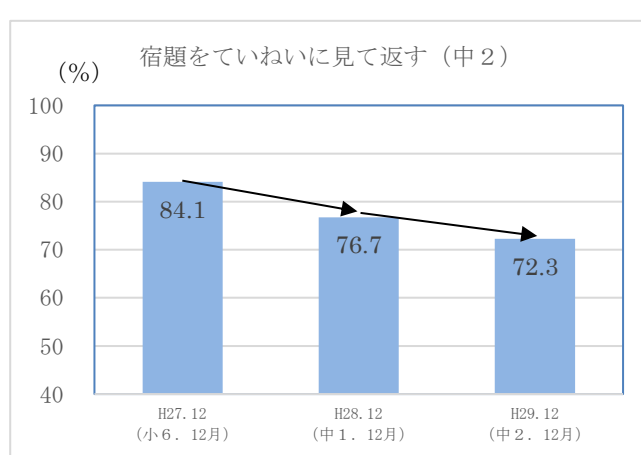
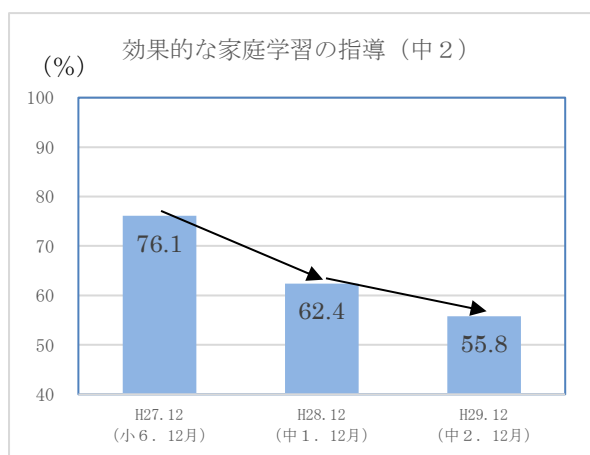
(3) 学習習慣



小6については、1時間以上学習する児童の割合が全国調査時に比べて0.3ポイント上昇し全国に比べても高くなっている。

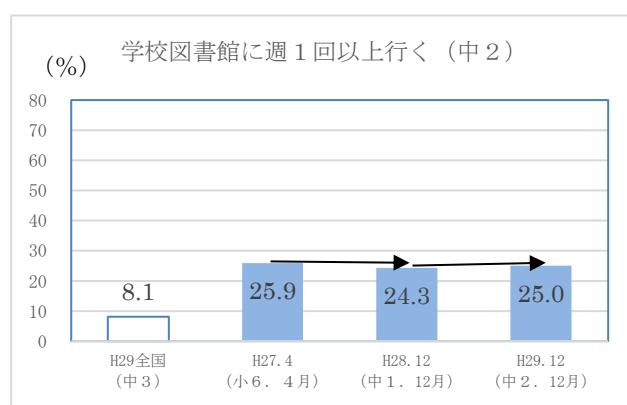
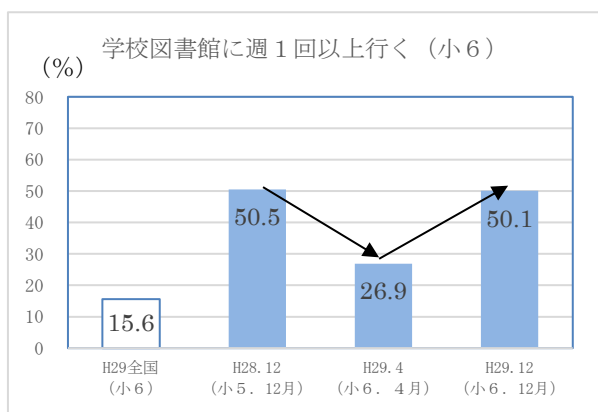
中2については、1時間以上学習する生徒の割合は、同一集団を追いかけると小6の12月、中1の12月、中2の12月と徐々に下がっている。

(※ 現在の中3について、昨年度12月調査では51.4%、今年度4月全国調査時は59.6%)

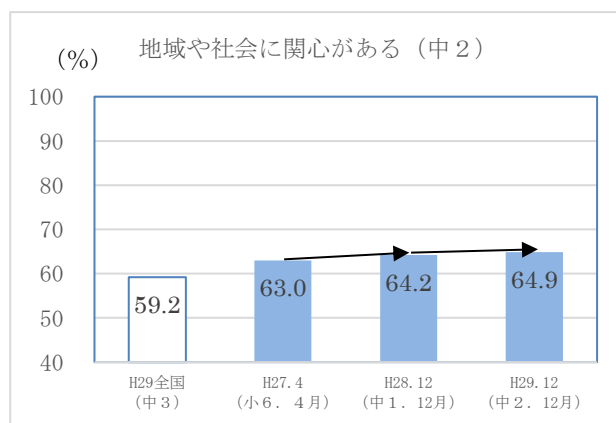
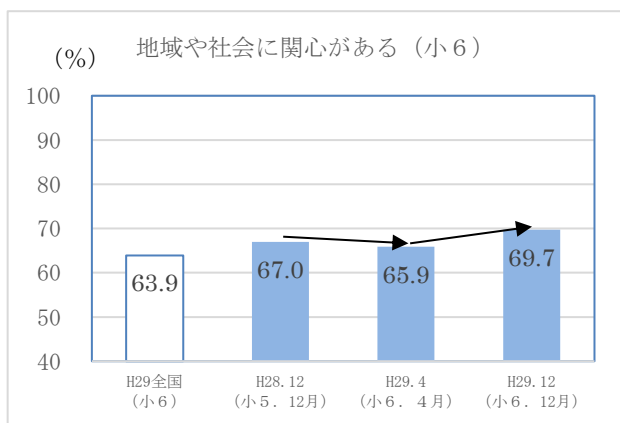


「先生は効果的な家庭学習の仕方について指導してくれる」「先生はやってきた宿題をていねいに見て返してくれる」の肯定的な回答率が、小学校では高い割合を示しているが、中学校では学年が上がるにつれて下降する傾向にある。中学校において、これまで以上に家庭学習の仕方について改めて指導したり、丁寧に宿題をみたりする必要がある。

(4) その他の状況



「読書が好きだ」「1日当たり30分以上読書をする」児童生徒の割合は、全国並みである。「授業以外で、本を読んだり借りたりするために、学校図書館にどれくらい行くか」について、週に1回以上と回答した割合は、全国を大きく上回っている。各学校で人のいる学校図書館が実現し、児童生徒に良い影響が出ている。



「今、住んでいる地域の行事に参加している」児童生徒の割合は、小6の肯定的回答率は78.0% (小6全国平均62.6%)、中2の肯定的回答率は55.2% (中3全国平均42.1%)で、全国平均と比較すると高い状況にある。

「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」児童生徒の割合は、少しずつ上昇している。各校でのふるさと教育の取組が着実に成果につながっている。

3 メディア利用の状況

「普段、1日当たり1時間以上携帯電話やスマートフォンを使う児童生徒の割合」は、年齢が上がるほど割合が大きくなっている。(小6のみを見ても、4月から12月で割合が大きくなっている)

「普段、1日当たり1時間以上テレビゲームをする児童生徒の割合(スマホのゲームも含む)」は、小6～中2まで学年にかかわらず、約半数にのぼっている。

メディア利用の在り方についても、家庭や地域と協力しながら引き続き指導していく必要がある。

